歴 史 を 感 じ て

夜須⑩中牟田マップ

この資料は、「筑前町の歴史」、「夜須の民話と伝説」、インターネット等を引用し作成しています。

ぷら～り 散歩

中牟田には、中牟田町区、中牟田村区、下原区があります。中牟田の神社、遺跡、公民館、公園等を紹介します。

これからの時代、健康づくりが大切です。歴史を感じながら散歩を楽しみましょう。コロナに負けるな！

中牟田校区では、中牟田村公民館にて子供食堂を開催しています。

中牟田

神社	宝満宮
寺院	西福寺
遺跡	古市彦太夫 （ふるいちひこだゆう）
その他	中牟田城

★古市彦太夫

寛永十四年(1637)の島原の乱に、宮崎重昌に従って従軍した家人の古市彦太夫は、負傷して片足が不自由となり、歩行さえも困難となったため、重昌は知行所差配（ちぎょうさはい：主君が家臣に与えた所領の世話人）として彦太夫を中牟田村に在住させた。

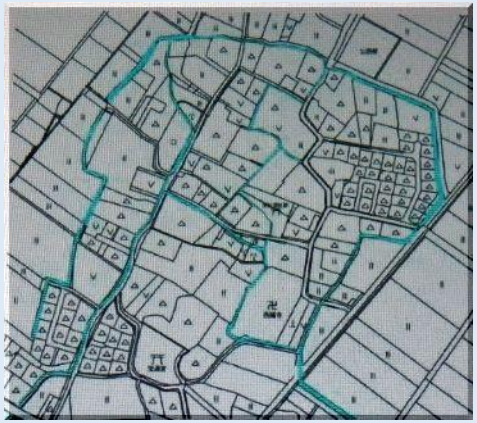
当時の中牟田村が、稲作の用水不足で難渋（なんじゅう：思うようにならず困ること）を極めているのを見た彦太夫は、これらの解決に心血を注ぎ、福岡藩領の山家村との利水を巡る問題解決と新田開発に尽した。

★地名の由来や伝承等ご存じの方は、下記までご連絡ください。

お問合せ：筑前町社会福祉協議会
（筑前町篠隈373コスモスプラザ福祉館）
ＴＥＬ：0946-42-4555（担当 時津、石丸）
Eメール：chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp

＜中牟田城＞

筑紫氏の持ち城で木村備前守と才田丹後守が在番した。推定地域の中央部近くには西福寺がある。寺の言い伝えでは、先祖は中牟田城主であったとのことで、ここが城域であったとみてよい。近年の現状を見ると自然の流れや街区とは異なる方向に約300㍍四方にわたって水路が廻っている。これは城の堀の名残とみられ、城の平面プランを反映しているものではないかと思われる。一辺300㍍の方形区画に本丸として一辺約100㍍の方形区画を想定するが、自然地形に即した外形を呈する現状に近い形であったとするのが妥当であろう。(教育委員会の資料より)



中牟田マップ

古市彦太夫

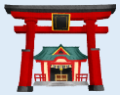
中牟田城

中牟田村公民館

西福寺

中牟田町公民館

宝満宮

太宰府市竈門神社の祭神玉依姫を祀る神社です。筑前町には、二、朝日、中牟田、三並などにあります。

下原公民館